



3/4
芳醇な香り漂う
新酒しぼり体験

和創良酒の会こだわりの新酒しぼり体験が、このほどサポーターズら三十人が参加して行われました。

作業は、仕込みを終えたもろみを猿桶と呼ばれる器に一旦移し、これを網目0.2mm程の袋に入れました。これをしぼり専用ケースの中に一つ一つ重ねていき、その重さによって少しずつ新酒がしぼり出されて来ました。それはまるで湧き水が流れ出て来るようにも見えました。アルコール度十七・三%という濃厚な新酒は、その独特の芳醇な香りが特徴のようです。

三島町のホームページアドレス
<http://www.alles.or.jp/~mishima1/>



2000
vol. 384

町文化財

せんごくばら
千石原遺跡 (吉崎地内)

昭和47年町指定 三島町所有

縄目文様の特徴から名付られた縄文時代は、今から一万二千年から二千年前までの長い期間続いた。

千石原遺跡は、今からおよそ五千年前の縄文中期の頃のものである。三島中学校裏手の丘陵地にあり、元々は「稲葉」の地名であったが、発掘に際し「千石原」と改められた。発掘は昭和四六年（一九七一）と同六二年の二回行われたが、現在は町スポーツ広場（野球場）になっている。

数々の出土品と共に、内側に舟型跡のある直径六米程の竪穴式住居も見つかった。つくりは西風や北風を避けるため東側に出入口がある半円状のものである。周りには四十cm程の高さのテラス（土の台）を廻らせ、その外



千石原遺跡出土の火焰型土器

側には雨水などを排水する溝が掘られていた。確かにここに縄文人達の集落があり、人々の生活の営みがあった訳です。またこの時代の一つの特長に火焰型土器があるが、この遺跡からも最盛期のすばらしい土器が出土している。胴の部分がくびれ口縁部には装飾的な突起が大きく開いており火焰型のうちでも最も発展した型のもので評されている。現在長岡市科学博物館の所有で、同所で展示されているが、このレプリカが、根立遺跡の遺物と共に今夏オープン予定の県立歴史博物館（長岡市関原町一丁目字権現堂2247番の2）の縄文コーナーの一角を飾ることになっている。

（文・中村勝榮）

町文化財シリーズは、今回で終了いたします。数多い町文化財の中から、一部しか紹介できませんでしたが、いかがだったでしょうか。感想を寄せていただくと幸いです。（広報・町文化財シリーズまで）
次回からは「絵馬」シリーズを始める予定です。ご期待ください。

広報クイズには昨年四月号から延べ〇〇通近うご応募をいただき誠にありがとうございました。残念ながら当選されなかった方々、本当にごめんなさい！応募ハガキの中にはご意見、ご質問のほか激励や提案などもいっぱいありました。——日本語ワープロソフト「二太郎」は、顧客からの苦情が開発のきっかけだとか——みなさんから寄せられるハガキも貴重な生の声（情報）として真摯に受け止めて、これからも紙面に生かしていきたいと思えます。▼四月号からマイナーチェンジを含め広報リニューアルに挑戦する予定です。広報クイズも継続しますので、奮ってご応募ください。そして、生の声をぜひお書き添えいただければ幸いです。



21世紀の三島町に向けて

みんなで創ろう！三島町の将来計画



町では、平成13年度から22年度までの10年間の町の基本となる「第四次三島町総合計画」を23名の審議会委員の皆さんを中心に策定を進めています。

この計画に、町民皆さんの意見等を反映させるため、昨年12月にアンケート調査を実施しました。主な結果について、お知らせいたします。

◆ 調査方法 ◆

三島町に在住の方700人を地区別の人口に比例して無作為に抽出し、回答は郵送による方法としました。
回答率は、65.7%でした。

Chapter

1

アンケート 集計結果

今回のアンケート調査は、前回平成7年同様、700人の方に調査を依頼し、回答者は460人となりました。回答率は65・7%で、前回は70・4%でしたので、4・7%の減となりました。(表1-1)

地区別の回答率は、旧日吉地区が前回に比べ15・5%減少しました。また男女別の回答者は、各350人の調査に対し、男性227人、女性232人、不明1人とほぼ前回と同数でした。年齢層別では、40歳代から60歳代までの回答者が全体の6割以上を占め、前回と比較すると30歳代40歳代の回答者が減少し、50歳代以上の回答者数が増加しました。(表1-2)

回答者の職業では、会社員が31・5%と最も多く、次に無職(14・1%)、家事(11・7%)、農業(8・7%)、建設業(6・5%)という順番になっています。

また、勤務地は、長岡市内が全体の34・6%と最も多く、次は無職(23・3%)、町内(17・2%)、自宅(16・1%)の順番でした。

表1-1 調査人数と回答者数

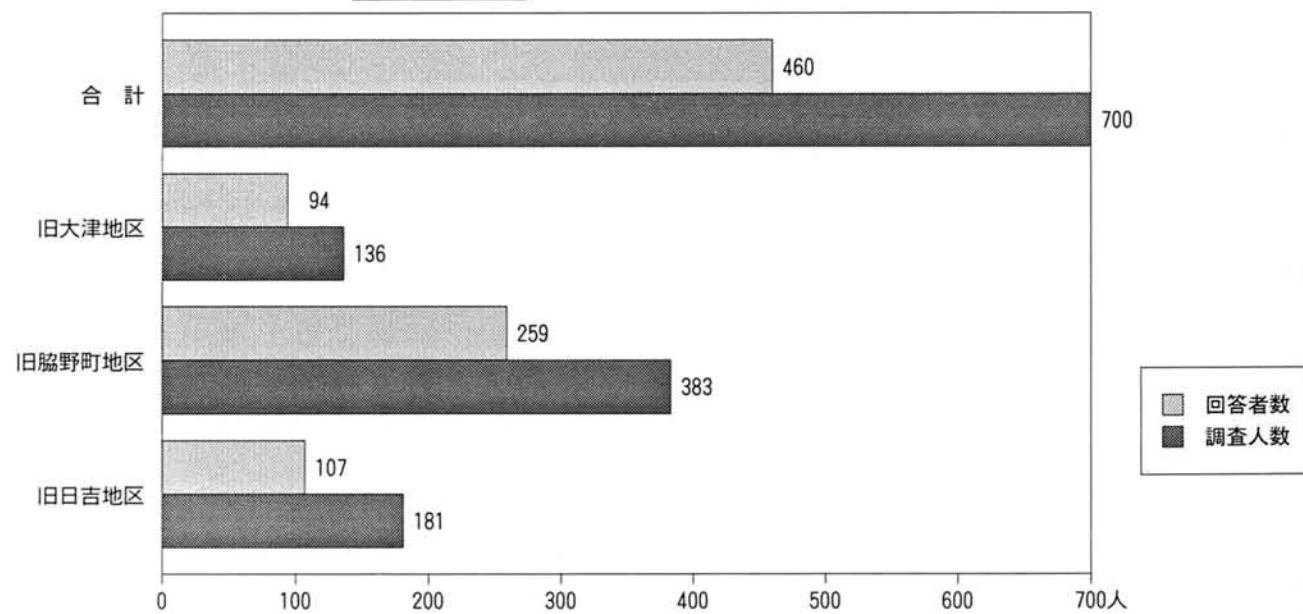
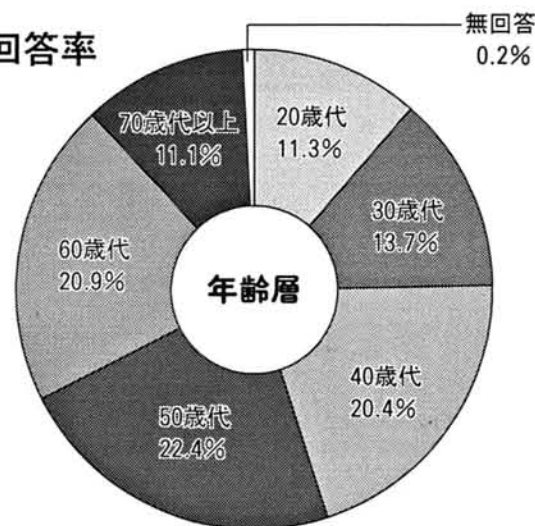


表1-2 年齢層別回答率



2

三島町の 住み良さは？

「あなたは三島町を住みやすい町だと思えますか？」という質問に対し、「住みやすい」21・7%、「どちらかと言えは住みやすい」52・3%で、合わせて約7割の方が三島町は住みやすい町と感じており、前回の調査とほぼ同じ結果となっています。

一方、「住みにくい」または「どちらかと言うと住みにくい」と感じておられる方は約2割あり、特に30歳代と40歳代の働きざかりの年齢層において多くなっています。(表2)

また、特に地域別での格差はなく3つの地域とも約7割の方が住みやすいと感じているようです。

3

住み良い理由 住みにくい理由

「住み良い」「住みにくい」それぞれの理由について、多い方から5つあげてみました。前回ではどちらかと言うと自然条件の良さが1位

になっていましたが、今回は、長岡市に近いことによる仕事や買い物など日常生活の利便性が1位になりました。また下水道の整備など生活環境の整備も進んだことがわかります。

逆に、住みにくい理由としては前回同様、医療機関が少なく利用が不便であるというのが1位で、買い物不便ということもあげられました。

住み良い理由として、長岡市に近いことがあがっているにもかかわらず、住みにくい理由として三島町に医療機関やショッピング施設が不足し、利用が不便ということがあがっているのは、その年齢層からも高齢化社会に伴う地域内での生活の安心を求める声が依然として強いことがうかがえます。

そのほか、除雪に不満をもっておられる方も多く、除雪に関して改善を求める声が24件ありました。(表3)

4

三島町の生活環境を チェック

日常の生活環境について、どのように感じているかを23項目に回答をいただきました。満足度において教育施設、下水道、集会所、道路整備など公共事業といわれる生活関連の基盤整備についてポイントが高い一方、観光や商工業、農林業の振興に対する不満が高くなっています。(表4)

表4 平成11年度住民アンケート(生活満足度)

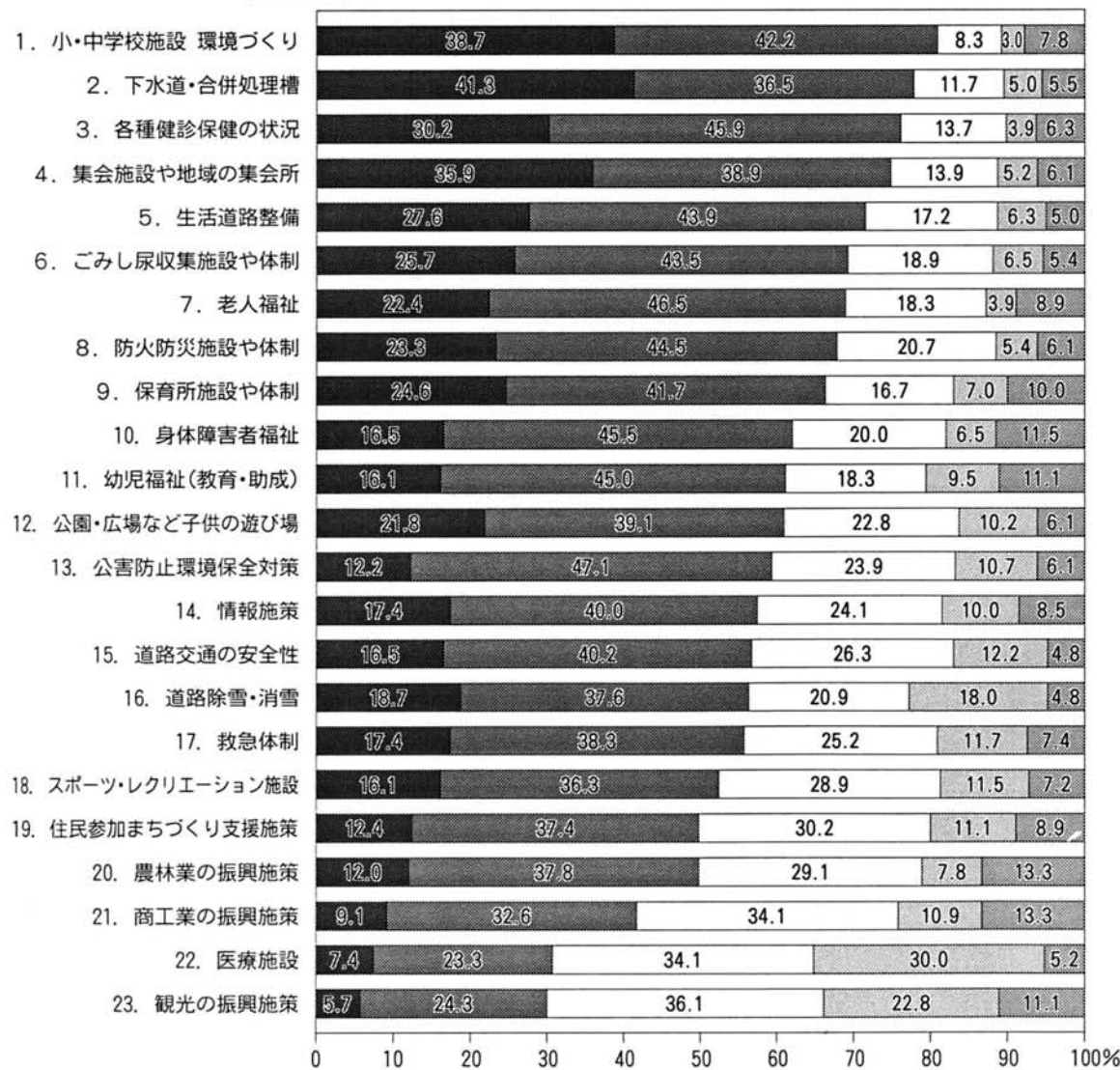


表2 町の住み良さ・住みにくさ

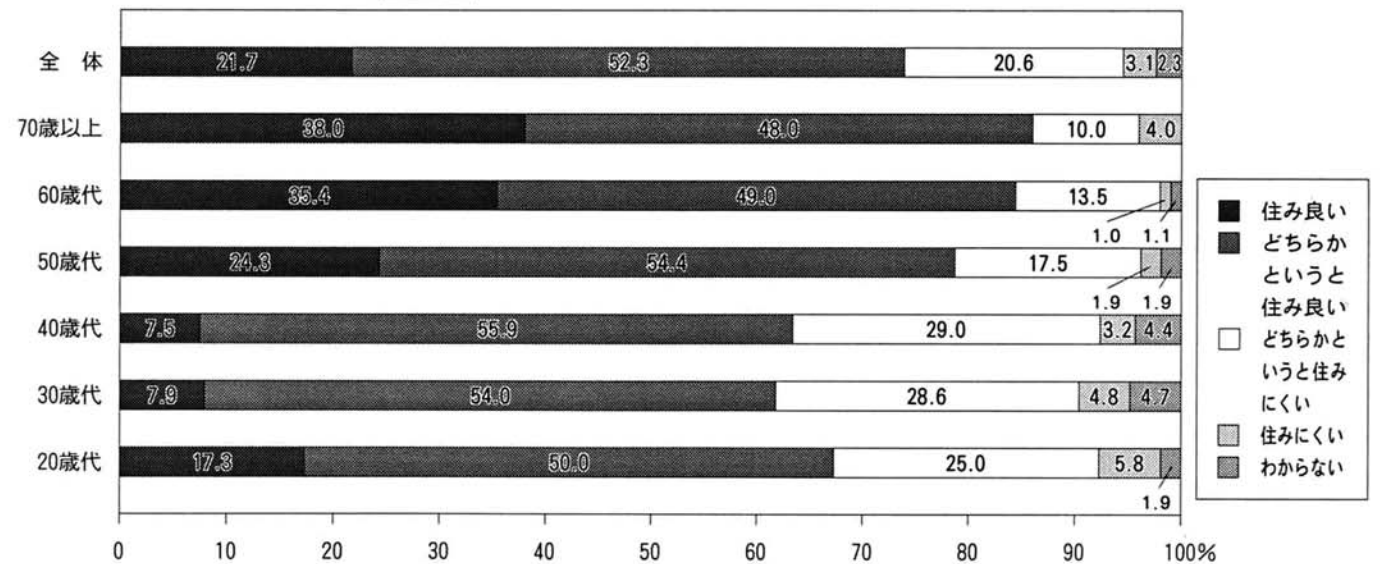


表3 それぞれ回答した理由(複数回答3つまで)

理由	件数	割合	理由	件数	割合
1位	188件	18.6%	1位	50件	15.6%
2位	178件	17.6%	2位	39件	12.2%
3位	173件	17.1%	3位	38件	11.8%
4位	72件	7.1%	4位	36件	11.2%
5位	72件	7.1%	5位	21件	6.6%

5

さらに住み良い まちづくりのために 必要な施設整備とは？

表3で住みにくい理由の1位にあがった「医療機関の整備」がここでも複数回答の1番目にあげる人が最も多く、複数回答の2番目を降を含めた全体でも1位にあげられました。次にショッピング施設の整備、老人福祉施設の整備が続く、高齢者にやさしいまちづくりが求められていることがわかります。(表5)

6

さらに住み良い まちづくりのために 必要な施策とは？

表5同様、医療機関の整備施策を求める声が多く、次に除雪、環境保全、産業の振興や雇用の場を確保してほしいという声が続きます。(表6)

医療機関の整備については、施設及び施策とも町として取り組むことは難しい面があり、いろいろな視点での検討が必要

要と思われる。

新潟県の1000の指標というデータでは、三島町の就業率は60・1%と県内112市町村のうち105位と低く、女性及び高齢者の就業率もそれぞれ102位、107位となっています。

20〜30歳代の女性の回答結果では、パートや臨時など地元での就業の場を求める声も多く今後の課題の一つといえます。

7

まちづくりに関する 意見要望等

全体で400件もの意見等が寄せられました。

特に多かったのは、行政運営等に関する意見が41件と最も多く、次に観光振興30件、除雪利雪24件、児童福祉24件、ごみ処理19件、住民参加18件と続きます。

今回のアンケート調査結果を公表してほしいとの要望もあり紙面の都合上、全て載せることができませんが、主なものとして、表7のとおり報告させていただきます。

問い合わせ先 役場企画調整課

☎42-2221 内線322

表5 今後必要な施設整備(複数回答)

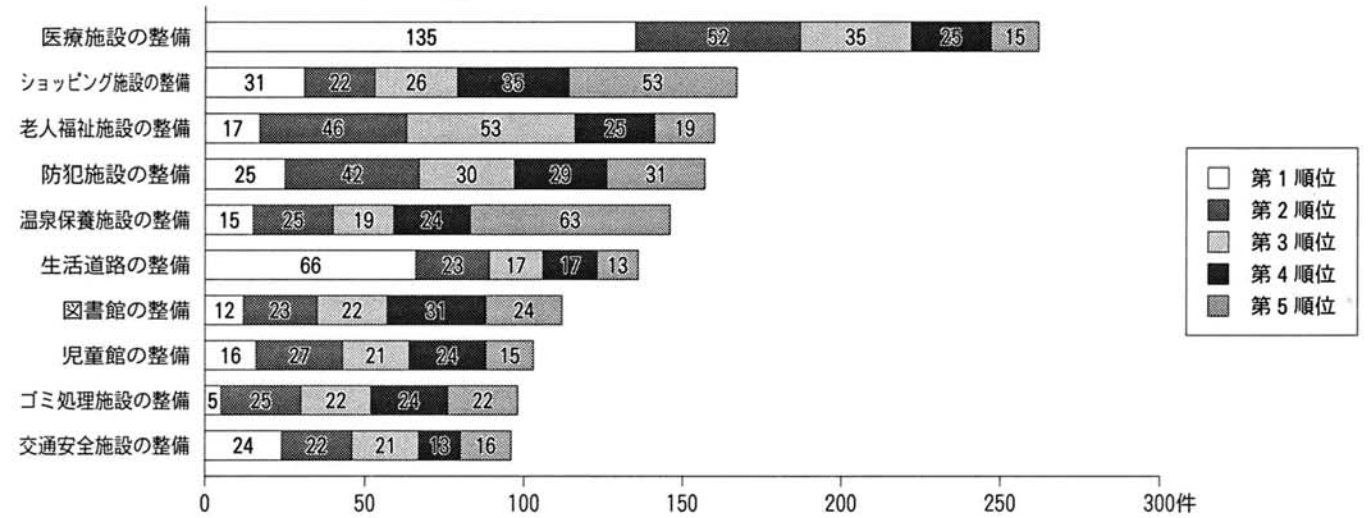


表6 今後必要な施策(複数回答)

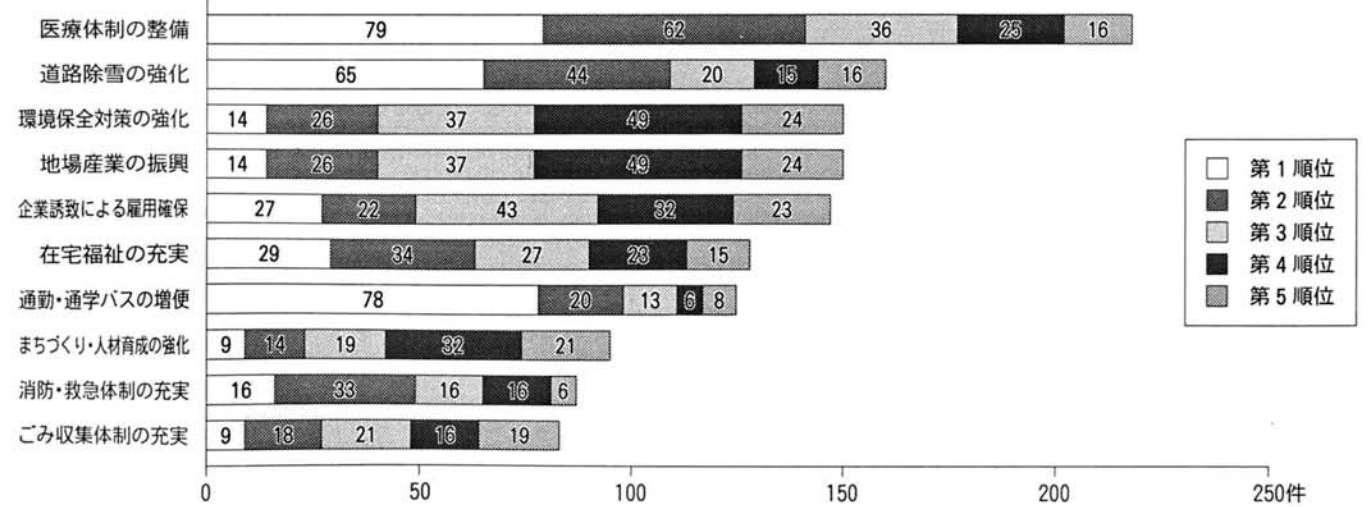


表7

「まちづくりに関する意見・要望等」一部掲載

- ・町中心部に偏った施策ではなく、もっと地域全体のことを考えてほしい。(50代男性)
- ・ここに来て2年になるがまだわからないことが多い。自然が多く静かで住みやすい。(40代女性)
- ・まちづくりは何か大きな事業をしてもうより、「生活のしやすさ」の点で不公平感を感じなくなるよう進めてほしい。(60代女性)
- ・子供の通学路など歩道整備を進めてほしい。冬の歩道除雪もしっかりやってほしい。(30代女性)
- ・テレビの難視聴解消のためケーブルテレビの活用し、情報の公開と共有化を。(70代女性)
- ・除雪が悪い。片側通行になるほど狭い。もったきれいに除雪してほしい。(20代女性)
- ・山間地における携帯電話の通話可能を実現してほしい。(20代女性)
- ・融雪屋根設備の一部補助制度の創設。(50代女性)
- ・脇野町地区の櫛のはがぬけたような現状は寂しい。活性化対策を希望する。(70代女性)
- ・中央公園の遊具は点在させずもっと流れをつくって充実してほしい。(50代女性)
- ・ピニールごみの収集日が少ない。週2回以上にしてほしい。(20代女性)
- ・ごみ増加防止のために一部有料化を。(60代女性)
- ・鳥越ごみ処理場及び周辺の農地の土壌などのダイオキシン類の徹底調査を実施し公表。(40代女性)
- ・原発事故対策のためヨウ素剤の配付を。避難体制の確立や訓練の実施。(30代女性)
- ・町中心部に比べ山間地には防犯灯が少なく生徒児童が帰宅する際に危険。(50代女性)
- ・スクールバスの運行をしてほしい。(30代女性)
- ・町行政に誰でも参加できるような社会教育・人材育成に力を入れてほしい。(60代女性)
- ・トレーニングやランニングのできる体育館の新設を希望する。(30代女性)
- ・地域にある小売店も大切、高齢になると遠くまで買い物にいけない。(60代女性)
- ・近隣市町村のような誰もが気軽に楽しめる温泉保養施設を建設してほしい。(40代女性)
- ・ユニークな発想で老人や中高年が働ける場所づくり。(40代女性)
- ・働く女性にやさしいまちづくり、保育や老人関係などの充実を望みます。(20代女性)
- ・保育所の充実・児童館の早期設置など子供を安心して任せられるシステムづくりを構築してほしい。(40代女性)
- ・老人世帯の屋根の雪降ろしボランティアの設置派遣。(50代女性)
- ・救急医療体制は広域に任せるが、家庭的な医療施設の整備を急いでほしい。(50代女性)
- ・計画づくりの主役は住民です。審議委員の意見とともに。(50代女性)
- ・多くの住民団体の意見・提案が反映できるよう配慮してほしい。(50代女性)
- ・従来からの居住者と転入者の間で風習やならわしなどの違いでとまどいもある。(50代女性)
- ・町としてもコミュニティ活動の後押しをしてほしい。(30代男性)
- ・情報の公開・開示がすべてのスタートである。(50代男性)
- ・役場職員の資質の向上と職員の削減。(60代男性)
- ・広域市町村圏内での役割を積極的に。特色あるまちづくりを広域の中でPRする。(60代男性)

土から生まれたものは土に返す



ごみ減量・再資源化推進協議会が

町長へ提言 2/28

『土から生まれたものを土に返す』取り組み

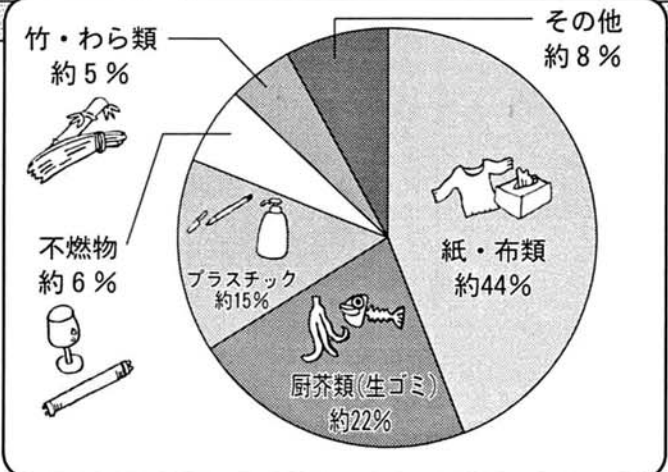
「ごみ減量・再資源化促進協議会提言」

来る21世紀は、物質循環型社会の構築である。ゴミ問題は、物質がある場所に留まることによって生じた環境問題である。すなわち、物質が留まれば厄介なゴミになり、それを強制的に減容すれば生態系・環境に負荷を与え、人類にも深刻な悪影響を残す。

循環型社会は、生産・流通・消費等あらゆる段階で出てくる不要となる物質をゴミとして扱わず、再利用・再資源化し物質が停滞せずに循環する社会である。来る21世紀、三島町は、物質循環型社会を目指すものでなければならぬ。

家庭から排出される一般廃棄物は、紙・布類約44%、厨芥類(生ゴミ)約22%、プラスチック約15%、不燃物約6%、竹・わら類約5%である。(平成10年度鳥越事業所調査)平成12年度、容器包装リサイクル法によりペットボトルがリサイクルされるのでプラスチックは減少すると思われる)

当委員会は、一般廃棄物の厨芥類をゴミとして燃焼させることなく肥料化し『土から生まれたものを土に返す』ことで物質循環をさせることを検討した。



三島町では初の公募型委員会である「三島町ごみ減量・再資源化推進協議会」がこのほど、その審議結果をまとめた提言書を木戸町長に提出しました。

この協議会は、昨年5月の発足以降のべ14回におよぶ会合の中で研究を重ね「土から生まれたものを土に返す」と題した提言書をまとめました。

内容は、問題提起、町の現状、堆肥化の手法、町での取り組みについてが主な内容であり、即実行可能なもの、その次に行うもの、将来的なあり方からなっています。

なお、公募型委員会とは、委員を一般から公募して決める委員会のことで、そのテーマについて専門的知識のある人や熱意のある人を発掘できるという利点があります。

厨芥類の堆肥化は、発生論的に次の3類型にまとめることができる。

①ゴミの焼却場や埋立地などの建設反対運動のなから、住民自身の手によって具体的対策の一つとして問題提起され実践に移された堆肥化施設(住民自治参加型)：大阪府松原市

②廃棄物行政の側からゴミ処理対策としての堆肥化施設(ゴミ処理対策型)：長野県小諸市、和田村

③農業サイドからの土作り、堆肥作りの一方法としての生ゴミの堆肥化(土作り農業型)：山形県長井市、長野県白田市

となるが、①は本町にそのような問題が発生していないので除外。②③について小諸市、和田村(一部委員は長井市へ)で現地調査をし、三島町の実情に即した三島町方式を検討し、次のような結論を得た。

厨芥類の資源化による三島町方式

『土から生まれたものを土に返す』

- ……厨芥類の資源としての認識
- ……厨芥類を堆肥にし、地力のある土作り
- ……有料化による厨芥類の可燃物からの除去

地力ある土は、健康で、安全で、美味しい野菜を育てる。
地力ある土は、プランター、鉢植え等で花や盆栽を育て、生活に癒しと潤いを与えてくれる。
地力ある土は、隣近所にコミュニティの和をつくる。

現状認識

月に約36tの厨芥類が資源として利用されず燃やされ公害の発生をもたらしている。

三島町は、兼業農家が多く、屋敷にコンポストを置き自宅で生ゴミを処理されている家庭が多いと考えられる。しかし、36tの厨芥類が無駄になり公害の発生源となっている。

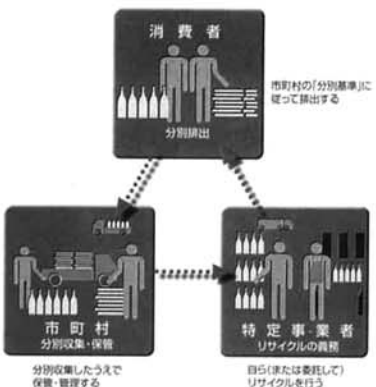
三島町の厨芥類(生ゴミ)排出量

10年10月～11年9月
 $1966 \text{ t} \times 0.22 = 433 \text{ t} / \text{年}$ (全体量の2割)
 $433 \text{ t} / 12 \text{ 月} = 36 \text{ t} / \text{月}$

容器包装リサイクル法

日本では、年間約5000万tのごみが家庭から出されていますが、その約6割(容積率)が容器包装廃棄物。そこで容器包装の減量化やリサイクルを進めるために平成9年(1997年)にスタートしたのが「容器包装リサイクル法」です。今年4月からは、従来のガラスやスチール製などの容器に加えて、プラスチック製や紙製の容器包装も新たに対象に加わります。

容器包装リサイクル法は、効率的なりサイクルシステムをつくりスムーズに機能させるため、すべての人々の役割を明確にしています。(左図)



厨芥類を堆肥化するには

厨芥類を堆肥化するには、加温強制堆肥化法（電動式）、有効性微生物群混入法、密閉堆肥法、堆肥塚等がある。以下は、それぞれについて考察をした。加温強制堆肥化法：厨芥類を強制加温するための高価な器具を購入しなければならぬ。また、かなりの電気代がかかることが予想される。

密閉堆肥法（コンポスト）：これは現在一番普及しているものと思われるが、厨芥類が腐るため堆肥としての有効性が半減する。また、悪臭とハエが発生し、汚い、臭いというイメージができ、土作りを積極的に取り組むには難しいと考えられる。

堆肥塚：30〜40年前にはどの農家にも必ずあり、厨芥類はもちろんのこと、人糞、人尿、雑草、藁等何でも有効に堆肥として利用され、まさしく理想的な物質循環がなされていた。しかし、現在の生活環境の中で、一番実現性がないと考えられる。

有効性微生物群混入法：日に数回、厨芥類をゴミバケツに入れるときに、有効性微生物群（以下EM菌）の入ったばかしを一つかみ振りかけ密閉するだけで、抗酸化力のある発酵性の堆肥ができる。発酵時間は、夏場であれば10日間ほど。春、秋であれば約30日間で堆肥として使える状態になる。EM菌は、水分、酸素を嫌うため専用のゴミバケツが必要となる。また、発酵熟成の時間が必要であり、ゴミ専用バケツは2つ以上必要になる。臭いは、腐敗臭がするわけではなく、台所においても気にならない。

以上の検討結果より、有効性微生物群混入法は他と比較して費用面、簡便さ、臭気において優れており、厨芥類の堆肥化にEM菌を利用することが一番合理的と判断した。EM菌を使った土壌からとれる野菜、果物は、収穫量が多く、品質、味覚も優れている。

三島町方式（段階的取り組み）による普及

第1段階：モニターと学校教育からの主旨の普及

- (1) 協力者50名程度をモニターに認定し、必要資材を無償で提供し、生ゴミの堆肥化の必要性と、有効性を体験していただく。
モニターの交友関係や広報を通じて町民に主旨の理解と協力輪を広げる。
- (2) 小中学校の教育活動の中で、毎日出てくる残飯を利用して堆肥をつくり、草花や、野菜を作りながら物質循環の重要性を体験していただく。
給食センターから出る野菜くず、残飯を堆肥化していただく。

第2段階：第1段階の継続と新モニターの育成

- ・ 第1段階のモニターと学校、給食センターは継続する。
- ・ 新たにモニター100名程度を設け、実践の輪を広げる。

第3段階：燃えるゴミの有料化による厨芥類資源化の徹底

- ・ 厨芥類は燃えるゴミとして家庭から排出されているが、有料化することによって燃えるゴミから厨芥類が除かれ、堆肥化が促進される。
- ・ 有料化によって生まれる利益は、ゴミバケツ、EMばかしの補助金としてつかう。

以上のような三島町方式によって、厨芥類を肥料化し、ゴミの減量化・再資源化を図る。

町では、容器包装品については本年4月からリサイクルプラザで処理する体制になっており、今後はこの提言書を参考に生ごみのリサイクルへの取り組みを検討することとしています。

農業では？

いきいきとした土壌に改良するために使う。その結果、農薬や化学肥料を使わずにすむ。EMのパワーに害虫もたじたじだよ！



畜産業では？

家畜のエサや飲み水に混ぜる。畜舎や悪臭対策として散布する。牧草にまく。悪臭が消えて、牛やブタ、鳥は健康になるんだよ！



その実態は？

微生物（善玉菌）の集まり

その働きは？

抗酸化力を使って、すべてをいきいきと健康な状態にする。



正式名称は？

有効性微生物群 (Effective Microorganisms) 頭文字をとってEMだよ！



保険料の軽減など

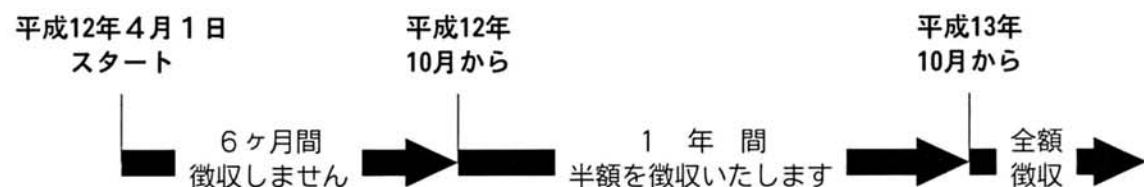
介護保険特別対策

のお知らせ

平成12年4月から介護保険制度が始まりますが、この制度の円滑な実施のために保険料の軽減など国の特別対策が実施されます。三島町では、この国の考え方にに基づき65歳以上の人（第1号被保険者）の保険料を軽減いたします。

1 65歳以上の人（第1号被保険者）の保険料

- 平成12年4月から9月までの6ヶ月間は、保険料を徴収しません。
- 6ヶ月が経過した10月からの1年間（平成13年9月まで）は保険料を半額に軽減します。
- この期間中の保険料を徴収しない分と半額軽減分の財源は国で負担します。



2 40～64歳の人 （第2被保険者）の保険料

- 健康保険や国民健康保険などの医療保険者が医療保険料に新たに上乗せして、平成12年4月から徴収されます。
- 国の特別対策といたしましては、第2号被保険者から介護保険料を徴収する医療保険者に対し、財政状況等を見ながら財政支援を行い全体として、新たな負担増をおさえることとされます。



3 低所得者の利用者負担

- 低所得世帯であって法施行時にホームヘルプサービスを利用していた高齢者について、ホームヘルプサービスに係る利用者負担を当面3年間は3%とし、その後、段階的に引き上げ平成17年度から基本である10%とする。
- 具体的には、生計中心者が所得税非課税で、おおむね法施行前1年間の間にホームヘルパーの派遣実績があることです。



まちのNEWS

このコーナーでは、町政の動きや町の行事・話題を紹介します。あなたの身近なところに話題がありましたら、役場広報担当へ連絡ください。

8人パワーが結集！ 町民綱引大会 3/5



第10回町民綱引大会が行われ、力自慢で結成された全9チームが参加。2つのブロックに別れリーグ戦の後、各ブロック上位2チームによるトーナメント戦が行われました。

今年協野町小学校の新校舎の完成記念として同校の先生たちで編成されたチームや中学生のチームなど初出場組にも期待がかかりましたが、やはり常勝チームの試合巧者ぶりには歯が立たなかったようです。

主な結果は次のとおりです。

優勝 七日市魔人
準優勝 七日市野人
第三位 タイシーズ
パワーズ新保

三島のうんめもんを満喫 えちご長岡地酒塾 2/19～20

長岡地域広域行政組合主催「えちご長岡地酒塾」の一行が、去る2月19日(土)20日(日)の両日、三島町を訪れました。これは、長岡地域13市町村の観光資源を県内外へアピールしようと同組合観光部会がJR東日本とのタ

イアアップで、平成8年から毎年実施しているもので、当町「三島うんめもんフルコース」には24名が参加しました。

1日目は、醸造元や酒蔵の見学、夕方には地元の人たちと郷土料理を囲んでの交流会がもた



れました。2日目は、中央会館を会場に、青竹によるお猪口づくりが行われ、地元大工さんの指導の下、自分オリジナルの作品を完成させました。お昼には、恒例の交流餅つき大会も行われ、参加者はずきずきの美味しさを楽しんでいました。



金のたまごたち

3才児健診より

三島町の行政相談委員は、遠藤鐵四郎さん(鳥越)です。国に対する苦情等を受け付ける皆さんの身近な行政相談窓口の一つとしてご利用ください。 ☎46・5614

健康ノート 12



食事の時間を大切に

家族みんな、あるいは気の合った仲間同士で食卓を囲む光景は、心なごむもの。楽しい食事はおなかを満たすだけでなく、人と人の心も通わせませす。心にゆとりを持ち、なごやかな食卓づくりを工夫してみましょう。

楽しい食事のために

- ▷朝食はできるだけ家族みんなで⇒朝食は1日のスタートを切るための大切な原動力。それぞれが少しずつ努力して、一緒に食卓を囲みませんか?
- ▷食事中はテレビを消して⇒夕食はテレビを見ながら...という人、夕べ何を食べたか覚えていますか?せっかくの食事を、なんとなくダラダラ食べるのは避けたいもの。家族みんなが語り合える貴重な時間を大切に。
- ▷もっと注目!盛りつけや器⇒忙しいときには市販のお惣菜がとても便利。でも、それをそのまま出すのではなく、火を通したり、なにかつけあわせを添えるなどの工夫があると食卓にぬくもりが生まれます。また、スーパーのトレイから気に入った器に移すことも大切なポイントだということをお忘れなく。



しあわせは
明るく正しい
選挙から
三島町選挙管理委員会

人口動態職業・産業調査にご協力を
お知らせ

厚生省では人口動態調査を毎年実施しています。この調査は皆さんからの出生・死亡・死産・婚姻及び離婚の各届出書をもとに、出生や死亡の状況などを調べるものですが、国勢調査の行われる年には、届書に職業の記入もお願いすることとしております。また、死亡届には、併せて産業の記入もお願いいたします。

調査結果は、今後の保健福祉の向上に役立たせるための統計資料として利用されます。本年は、国勢調査の年でもあることから、届出をされる方々には、ご面倒をおかけしますが、ご協力くださるようお願いいたします。

▼調査期間 平成12年4月1日～平成13年3月31日(1年間)
▼調査対象者 出生・死亡・死産・婚姻・離婚届を出される方々
▼調査方法 各届書を出されるときに、それぞれ職業を記入していただきます。例えば、「教員」「プログラマー」の方は専門・技術職、「一般事務員」「集金人」の方は事務職、「飲食店主」「小売店主」「外交員」の方は販売職、「美容師」「調理師」「ホームヘルパー」の方はサービス職、というように書いていただくことになります。また、死亡届には、農業、建設業、不動産業といった産業も併せて記入していただきます。届出をする市区町村役場の窓口にて「出生届・死届・死産届・婚姻届・離婚届をされる方にお願ひ(職業・産業例示表)」が備え付けてありますので、参考の上、記入をお願いいたします。また、わからない場合は、窓口でお聞きください。

▼縦覧期間 4月3日(月)～24日(月)
税務課 253

固定資産税課税台帳の縦覧

※土・日曜及び祝日は除く。
▼縦覧時間 午前9時～午後5時
▼縦覧できる人
・納税者本人
・納税者の同意、委任を受けた人
・納税管理者
▼縦覧場所 三島町役場・税務課
▼その他 縦覧される場合は、印鑑を持参してください。納税者本人以外の人は所有権者本人の委任状が必要です。

三島町選挙管理委員会から町長選挙の日程が決まりました
総務課 312

6月24日で任期満了となり、三島町長選挙の選挙日程が決まりました。立候補予定者事前説明会が開催されますので、立

乳幼児保健行事の
お知らせ



【会場 保健センター】

対象	内容	期日・受付時間
H11.11～H11.12 月 出生児	乳児相談	3月27日(月) 9:00～9:30
H11.4～H11.5 月 出生児		
H11.1～H11.2 月 出生児	お誕生歯科健診	3月22日(木) 13:15～13:30
H10.5～H10.8 月 出生児	1才6か月児健診	3月24日(金) 13:45～14:30
H11.1～H11.12 月 出生児	ポリオ	

※3～4か月乳児相談の時、乳児健診無料券、神経芽細胞種検査セットをお渡しいたしますので、必ずおいで下さい。

子ども地域活動
促進事業

わくわく
ルームのお知らせ



三島町公民館では放課後の児童を対象にした「わくわくルーム」を4月5日から開設いたします。公民館図書・漫画本・絵本・ゲーム・ビデオ・楽しいものがいっぱい用意してあります。ホールでサッカーをやろうか...仲間がたくさん集まればドッジボールもできるネ...みんな集まって楽しいことを相談してやろうヨ...。また、地域の皆さんから指導者になっていただき、いろんな体験をやろうヨ...。こんな企画で、町内のひとりぼっちの児童や友達と遊ぶ場がほしい児童のために、三島町公民館では、「わくわくルーム」を開設し、児童が遊びを通じて友達づくりや体験ができるよう、専任の人を置いて実施いたします。

場所

三島町体育館2階
「わくわくルーム」
☎42-2756

対象者

三島町に住所を有する小学生を対象といたします。参加申し込みは不要ですが入館時に出席表に名前を記入していただきます。開設時間中であれば自由に参加し、友達と別な遊びに出かけてもかまいません。児童は一旦帰宅してから、参加して下さい。



保険

傷害保険は町で加入します。ただし、保険の対象は体育館内・屋外でのルーム活動に限ります。
※体育館への往来は保険の対象となりませんので、交通事故等充分気を付けるよう保護者において指導して下さい。

開設日及び時間

13時～18時まで
※春・夏・冬休みは
8時30分～18時まで。

休日

第2・第4土曜日、日曜日、国民の祝日(振替休日含む)
8月13日～16日・12月29日～1月3日

●お問い合わせは 三島町教育委員会へ ☎42-2221 内線330・333



見学会

候補予定者はご出席ください。
▼告示日 6月6日(水)
▼投票日 6月11日(日)
▼立候補予定者事前説明会 5月12日(金) 午後1時30分
▼場所 役場3階 大会議室

ケアハウス「けやきの杜」
完成見学会
横山けやき苑
☎29-2500
ケアハウス「けやきの杜」及び老人保健施設「グリーンヒル

俳句

(紅葉吟社)

◎自動改札通り抜けたる寒さかな
原 遊子
自分史は未だ半ばや二月尽
中村 遊雲
転作の段取り忙し雪降り
結城 老松
病む夫の部屋にとどきし虎落笛
難波 千代女
東の間の日差し仰ぐや二月尽
木戸 忠津
針供養母の使いし躰尺
棚橋 比呂志
梅の木にじつと止りし寒雀
遠藤 カズ
九十二の寒が明けたるばかりなり
丸山 義広
散らし寿司屑く手先や日脚伸ぶ
大滝 著風



ダイヤル案内 ガス企業団 42-2671 与板郷消防署(斉場) 72-2572
 水道企業団 72-2259 みしま交流センター 42-2223
 みしま中央会館 42-2222 三島町体育館 42-2756

CALENDAR

3月 MARCH	
18 土	
19 日	
20 月	春分の日
21 火	新保なかよしクラブ 9:00 新保集落センター レクダンス 13:30 交流センター 心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館
22 水	国連水の日 りんごクラブ 10:00 保健センター
23 木	世界気象デー リハビリ 13:00 みしま園 ラージボール卓球教室 13:30 町体育館
24 金	世界結核デー 与板地区プレイ教室 9:30 与板町 脇野町小学校卒業式 9:30 日吉小学校卒業式 10:00
25 土	町立保育所修了式 9:00
26 日	
27 月	ウォーキング教室 13:30 町体育館
28 火	レクダンス 13:30 交流センター 運動講座 13:30 中央会館 心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館
29 水	国民健康保険税(振替日)
30 木	
31 金	
4月 APRIL	
1 土	春季における都市緑化推進運動(～6月30日)
2 日	

3月	
4 火	町立保育所入所式 9:00 心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館
5 水	
6 木	春の全国交通安全運動(～15日) 日吉小学校入学式 脇野町小学校入学式 三島中学校入学式 母子手帳交付 13:30~13:45受付 保健センター
7 金	世界保健デー
8 土	
9 日	
10 月	女性週間(～16日)
11 火	心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館
12 水	
13 木	
14 金	与板地区プレイ教室 9:30 与板町
15 土	
16 日	
17 月	科学技術週間(～23日)
18 火	発明の日 心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館
19 水	
20 木	通信記念日 母子手帳交付 13:30~13:45受付 保健センター
21 金	与板地区プレイ教室 9:30 与板町



プレイ教室とは…「ことばが遅い」「発音が少し心配」「他の子供と遊べない」などで気になる子供や親子を対象に、専任保育と保健婦と一緒に遊び、触れあいを通して考え、学ぶ場です。

納税メモ

3月の町税等の口座振替は3月29日(水)です。
 納期限は3月31日(金)です。
 期限内完納にご協力ください。

生活データファイル

人口と世帯				
3月1日現在:()内は2月1日との比較				
人口	7,472人 (+12)	男 3,595人 (+8)	女 3,877人 (+4)	
世帯数	2,048世帯 (+2)			
人口動態		2月中		
出生	6人	死亡	7人	
転入	22人	転出	9人	
家庭ごみの収集量				
2月中		2月中		
燃やすごみ	124,040kg	資源ごみ	6,830kg	
燃やさないごみ	14,630kg	大型ごみ	860kg	
合計		146,360kg		
気象				
2月中:()内は観測日				
平均気温	1.4℃	最高気温	9.0℃ (15日)	
降水量月計	155.0mm	最低気温	-3.5℃ (6・26日)	
平均湿度	83%	最大風速	28.0m/s (9日)	
天候				
2月中:観測は午前9時				
晴れ	4日間	曇り	15日間	
雨	0日間	雪	10日間	
消防出動状況				
2月中 12年累計 前年同月累計 前年同月対比				
	0件	0件	0件	-%
救急出動状況				
2月中		2月中累計	12年累計	
		救助人数	救助人数	
負傷	2件	3件	0人	0人
交通	1件	1件	0人	0人
急病	1件	9件	0人	0人
その他	0件	0件	0人	0人
合計	4件	13件	0人	0人
交通事故違反発生状況				
2月中		12年累計	前年同月累計	前年同月対比
件数	2件	3件	1件	+200%
死者	0人	0人	0人	-%
傷者	2人	6人	1人	+500%
飲酒運転 検挙者数	0人	0人	2人	-100%

防衛庁・自衛官幹部候補生
 防衛庁では、一般・技術・医



募集

防衛庁・自衛隊柏崎募集事務所
 〒945-1082
 柏崎市穂波町1-35
 (内山ビル104)
 ☎0257-2413000

与板(増築分)がこのほど完成しましたので、次により見学会を開催します。
 ▼期日 4月1日(出)・2日(回)
 ▼時間 9時~16時(両日)
 ▼見学会
 ①ケアハウスけやきの杜/デイサービスセンターけやきの杜/デイホームけやきの杜/ホームヘルプステーションけやきの杜(長岡市上野町1059の2)
 ②老人保健施設グリーンヒル与板(与板町榎原393の8)

科・歯科・薬剤師候補生を募集します。
 ▼受付期間 4月10日(月)~5月12日(金)
 ▼応募資格 平成12年4月1日現在、22歳以上26歳未満の者(大学卒業程度の学力を有する者)。ただし、大学院修士課程修了者(見込を含む)、海上技術幹部候補生志願者(理工学課程修了者に限る)は28歳未満。
 ▼試験日 5月27日(出)・28日(回) 問い合わせ
 防衛庁・自衛隊柏崎募集事務所
 〒945-1082
 柏崎市穂波町1-35
 (内山ビル104)
 ☎0257-2413000

平成12年度県高齢者大学生
 (助新潟県長寿社会振興財団
 ☎0251-28511400
 明るい未来に向かって、いろいろなことに興味を持ち、意欲的に参加してみませんか。
 ▼募集講座 教養講座(2年制・福祉ボランティア講座・パソコンによるワープロ講座)
 ▼実施時期 6月~10月
 ▼応募資格 県内在住のおおむね60歳以上の方
 ▼募集期間 4月3日(月)~24日(月)
 ※入学会内は、役場保健福祉課にあります。



相談

「道の相談室」が開設されました
 国民の声が道路管理者に円滑に届き、国民のニーズが直接把握できる仕組みを充実し、寄せられる意見、苦情等を処理するため、複数の道路管理者が連携し、道路に関する提案、相談等を総合的に受け付けて対応する窓口「道の相談室」が開設されました。
 ▼対象になる道路 新潟県内の道路(高速道路、国道、県道、市町村道)
 ▼相談窓口 道の相談室(北陸地方建設局内)
 ▼フリーダイヤル
 0120-11061497



講座

高齢者生きがい講座開講式
 ※受付時間:午前9時30分~午後5時(土・日曜及び祝日は除く)
 ▼期日 4月10日(月)
 ▼時間 午後1時30分~3時
 ▼場所 交流センター
 ▼講座内容 「習字」「民謡(踊り)」「盆栽」「焼き物(陶芸)」「手芸」「料理」「社交ダンス」の7講座を開講します。まだ受講申込されていない方は、各地区の老人クラブ会長または交流センターへお申し込みください。